

事務事業名	農業振興活動支援事業		所属部局	農林商工部	単位番号	2103-900066				
	<input type="checkbox"/> 実施計画事業		所属課室	農林振興課	課長名	築野剛司				
			所属担当		担当者名	西野文人				
基本政策	基本計画	II にぎわいと活力あふれる都市づくり	予算科目	会計 01	名称 一般	款 06	項 01	目 03	細目 020	細々目 56
政策	計画体系	07 農林水産業の振興	事業区分	<input type="checkbox"/> 国の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> 施設等維持管理事業 <input type="checkbox"/> 県の制度による義務的事業 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金交付事業 <input type="checkbox"/> 市の制度による義務的事業 <input type="checkbox"/> その他の事業 <input type="checkbox"/> 義務化されている協議会等の負担金						
施策	12 生産を支える基盤の整備充実									
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 25 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (25 ~ 29 年度)		法令根拠							
事務事業の概要	事業の内容・・・期間限定複数年度事業は次年度以降3年間の計画内容も記載 南アルプス市の農業振興に資する事業として、新たに農業の6次産業化(農産物の生産と加工・販売の一体化や、地域資源を活用した新たな産業の創出を促進する)に取り組む市内農業団体に対し、本市の地域資源を活用とした研究・商品開発、販路拡大を応援・支援していく。H25-H30(終期設定) 研究・商品開発(2年の補助)、販路拡大(1年の補助)			事業費の主な内訳 (25年度 決算見込) 項目(細節) 金額(千円) 項目(細節) 金額(千円) 協議会・協会・団体補助金 600						
				計 600						

1 現状把握(DO)

(1) 事務事業の目的と目標

① 活動	25年度活動実績 6次産業化への調査研究に取り組む団体へ補助金を交付する。 26年度活動予定 6次産業化への調査研究に取り組む団体へ補助金を交付する。
② 対象(この事務事業は誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等	3名以上で構成された市内農業団体(法人は除く)
③ 意図(この事務事業により対象をどのような状態にしていけるのか、どのように変えるのか)	今までの農家スタイルから、農業の6次産業化に取り組み、経営の多角化を進めることで、儲かる農業に繋がる。 本市の地域資源を活用し、新たな付加価値を生み出す地域ビジネスの展開や新産業を創出し儲かる農業経営ができる。
④ 上位目的(どのような結果に結び付けるのか)	生産→加工→販売までを一体化し、地域資源を活用した新たな産業の創出を促進するなど、儲かる農業を構築し、地域農業の振興を図られる。

⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標) 数字は記入しない	名称 単位 ア 活動回数 回 イ ウ
⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標) 数字は記入しない	名称 単位 ア 申請団体 団体数 イ ウ
⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称 単位 ア 農業就業人口 人 イ 経営耕地面積(農林業センサス) ha ウ
⑧ 上位成果指標(結果の達成度を表す指標) 数字は記入しない	名称 単位 ア 生産農業所得額(山梨農林水産統計年報) 億円 イ

(2) 事業費・指標の推移

年間トータルコスト	事業費	財源内訳	単位	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	最終年度
				(決算・実績)	(決算・実績)	(決算見込・実績)	(予算・目標)	(計画・目標)	(計画・目標)	
		国庫支出金	千円							
		県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		一般財源	千円			1,285	2,400	2,700	1,800	
		事業費計(A)	千円	0	0	1,285	2,400	2,700	1,800	0
	人件費	正規職員従事人数	人			1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間			80	80	80	80	
		人件費計(B)	千円	0	0	364	364	364	364	0
		(A)+(B)	千円	0	0	1,649	2,764	3,064	2,164	0
	活動指標	ア	回							
		イ								
		ウ	団体数							
	対象指標	ア								
		イ								
		ウ								
	成果指標	ア	人							
		イ	ha							
		ウ								
	上位成果指標	ア	億円							
		イ								

(3) この事務事業を取り巻く状況(対象者・社会状況等)の変化、市民意見等

① この事務事業はいつ頃どんな経緯で開始されたのか?	平成15年合併以前の旧町村より継続し、農業者団体活動に対し、活動補助を行ってきたところであるが、終期も設けずに毎年同じ団体への補助を行うとともに、補助金の透明性、公平性の観点からも十分にチェックができて
② 事務事業を取り巻く状況は開始時または5年前と比べてどう変化しているか? また、今後の予測は?	補助金の必要性・妥当性を検証した、新たに時代のニーズに合った補助金への要望意識が高まっている。また、生産者においても地域ぐるみでの農業経営への意識は傾向は今後も高まる。
③ 事務事業に対して関係者(市民、事業対象者、議会等)からどんな意見・要望が寄せられているか?	合併以前からの既得権化した補助金から透明性のある新たな時代のニーズに合った補助金の創設要望がある。

(4) 改革改善の取り組み状況

① 改革改善の取り組み実施は?	<input checked="" type="checkbox"/> 取り組みしている ⇒【内容!】 <input type="checkbox"/> 取り組みしていない ⇒【理由!】
② これまでの改革改善の取り組み状況・経過(取り組みしていない場合はその理由)	平成15年合併以前の旧町村より継続し、農業者団体活動に対し、活動補助を行ってきたところであるが、終期も設けずに毎年同じ団体への補助を行うとともに、補助金の透明性、公平性の観点からも十分にチェックができておらず、既得権化してきたため。平成25年度より見直しし新たに創設。
③ H 25年度に実施した改革改善の内容	特になし。

事務事業名	農業振興活動支援事業	所属部	農林商工部	所属課	農林振興課
-------	------------	-----	-------	-----	-------

2 評価(Check1)担当者による事後評価(複数年度事業は途中評価)

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系の施策に結びつき、貢献しているか？意図が上位目的に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついていない(見直し余地がある) ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由↓】 農業の振興事業である。
	② 公共関与の妥当性 この事務事業を税金を投入して市が行わなければならないのか？ 民間やNPO、市民協働に移行することは可能か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由↓】 本市の基幹産業である農業振興を図る為には、農家及び農業団体は実践し、市は支援するという役割が必要であり、そのための市の施策として、必要な補助金の支援は妥当である。 事務事業の全部もしくは一部を外部に移行することが可能である。 <input type="checkbox"/> 民間・NPO <input type="checkbox"/> 市民協働
	③ 維持・継続の妥当性 現状の対象と意図、成果から考えて、この事務事業を将来にわたり、維持・継続していくことは妥当か？目的や事業の必要性を見直す余地はあるか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由↓】 地域農業の振興に繋がっている。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 今後さらに事務事業の成果を向上させることはできるか？できない場合は何が原因でできないのか？	<input type="checkbox"/> かなり向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> ある程度向上余地がある ⇒【理由↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由↓】 調査研究や試作品開発を行っている団体に対して、今後は販路の拡大する取り組みを促していく。
	⑤ 類似事業との統合・連携の可能性 類似した目的を持つ事務事業が他にあるか？類似事務事業がある場合、その事務事業との統合や連携を図ることはできるか？	<input type="checkbox"/> 類似事務事業がある ⇒(類似する事務事業の名称を記入！) <input type="checkbox"/> 統合・連携ができる ⇒【理由と具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input type="checkbox"/> 統合・連携ができない ⇒【理由↓】 <input checked="" type="checkbox"/> 類似事務事業がない
効率性 評価	⑥ 休止・廃止した時の影響及び休止・廃止の可能性 この事務事業を休止・廃止した場合影響はあるか？また成果から考えて、休止・廃止することはできるか？	<input type="checkbox"/> 影響なし <input checked="" type="checkbox"/> 影響あり ⇒【理由と影響の内容↓】 本市の基幹産業である農業振興を図る為には、農家及び農業団体は実践し、市は支援するという役割が必要であり、そのための市の施策として、必要な補助金の支援であり影 <input type="checkbox"/> 休止・廃止ができる <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止できない ⇒【理由↓】 本市の基幹産業である農業振興を図る為には、農家及び農業団体は実践し、市は支援するという役割が必要であり、そのための市の施策として、必要な補助金の支援であり休止できない
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費(コスト)を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 H25から取り組みを始めたばかりであり、研究・商品開発(2年の補助)、販路拡大(1年の補助)であるため削減余地なし。
	⑧ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費を削減できないか？(事業のやり方の見直しによる業務時間の削減や臨時職員対応や外部委託による削減はできるか？)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由↓】 補助金を交付するにあたり、ただ交付すればいいというものではない。職員が関わるとともに、団体の育成も重要な役割と考える。
公平性 評価	⑨ 受益機会・受益者負担の適正化余地 事務事業の内容が一部の受益者に偏っていないか？受益者負担を見直す必要はないか？公平公正か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由・具体案↓】 ⇒ 3評価(Check2)・4今後の方向性に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由↓】 公募により、募集することにより、市内閣農業団体へ周知している。常に特定の農業団体ではないため公平と考える。

3 評価(Check2)担当課管理者による評価結果と総括

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 1次評価の総括(事務事業を実施した結果を振り返り気づいたこと、課題、今後の方向性等について)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	平成25年度から新設された事業であり、取り組みしている団体にとっても未知の部分もあるが、市としても積極的に関わっていくことで、農業の6次産業化取り組みを推進している。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事務事業の方向性(Check1の結果から定める)・・・複数選択可	(3) 改革・改善による方向性																					
<input type="checkbox"/> 廃止(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> 事業統合・連携(有効性⑤の結果) <input type="checkbox"/> 公平性改善(公平性⑨の結果) <input type="checkbox"/> 休止(目的妥当性①、②、③の結果) <input checked="" type="checkbox"/> 成果向上(有効性④の結果) <input type="checkbox"/> 現状維持(全評価項目で適切) <input type="checkbox"/> 必要性検討(目的妥当性①、②、③の結果) <input type="checkbox"/> コスト削減(効率性⑦、⑧の結果)	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト水準</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果水準</th> <th>向上</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input checked="" type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> </table> ※ 廃止・休止の場合は記入不要			コスト水準			削減	維持	増加	成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				コスト水準																		
		削減	維持	増加																		
成果水準	向上	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	維持	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
	低下	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>																		
(2) 改革改善案について																						
(4) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策	(5) 事務事業優先度評価結果 平成25年度																					
	<table border="1"> <tr> <td>成果優先度評価結果</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>コスト削減優先度評価結果</td> <td>⑫</td> </tr> </table>	成果優先度評価結果	①	コスト削減優先度評価結果	⑫																	
成果優先度評価結果	①																					
コスト削減優先度評価結果	⑫																					